



平成26年2月14日

各 位

上場会社名	株式会社リソー教育
代表者	代表取締役会長兼社長 岩佐 実次 (コード番号：4714 東証第一部)
問合せ先責任者	情報開示担当リーダー 澤井 豊 情報開示担当リーダー 田中 文明 (TEL 03-5996-3701)

(訂正) 「平成21年2月期中間決算短信」の一部訂正について


当社が平成20年10月15日に公表致しました「平成21年2月期中間決算短信」につきまして、一部訂正がありましたので、お知らせ致します。

なお、訂正箇所につきましては____下線を付して表示しております。

訂正理由につきましては、平成26年2月10日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」及び本日付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度に係る決算短信等(訂正版)の公表について」をご参照下さい。

以 上

(訂正後)

(財)財務会計基準機構会員 

平成21年2月期 中間決算短信

平成20年10月15日

上場会社名 株式会社リソー教育 上場取引所 東
 コード番号 4714 URL <http://www.tomas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 秀一
 問合せ先責任者 (役職名) 情報開示担当リーダー (氏名) 澤井 豊・田中 文明 TEL (03) 5996-3701
 半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年11月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年8月中間期の連結業績 (平成20年3月1日～平成20年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月中間期	7,334	1.0	222	△42.1	210	△46.3	54	△38.5
19年8月中間期	7,261	7.2	383	△58.8	391	△60.9	88	△84.8
20年2月期	14,999	—	1,124	—	1,150	—	△10	—

	1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年8月中間期	13	48	—	—
19年8月中間期	21	66	21	55
20年2月期	△2	59	—	—

(参考) 持分法投資損益 20年8月中間期 - 百万円 19年8月中間期 - 百万円 20年2月期 - 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
20年8月中間期	8,756	—	2,160	—	24.7	535	20	
19年8月中間期	8,302	—	2,476	—	29.8	613	78	
20年2月期	8,422	—	2,111	—	25.1	523	16	

(参考) 自己資本 20年8月中間期 2,160 百万円 19年8月中間期 2,476 百万円 20年2月期 2,111 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
20年8月中間期	787	—	△350	—	△789	—	2,495	—
19年8月中間期	66	—	△1,053	—	△389	—	2,065	—
20年2月期	849	—	△981	—	△461	—	2,848	—

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		中間期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
20年2月期	40	00	45	00	25	00	10	00	120	00
21年2月期	0	00	20	00	—	—	—	—	—	—
21年2月期(予想)	—	—	—	—	0	00	25	00	45	00

3. 平成21年2月期の連結業績予想 (平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	16,520	10.1	1,865	65.8	1,820	57.5	835	8,043.7	206	94

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 20年8月中間期 4,263,345株 19年8月中間期 4,261,140株 20年2月期 4,262,040株
 ② 期末自己株式数 20年8月中間期 225,835株 19年8月中間期 225,835株 20年2月期 225,835株

（注）1株当たり中間（当期）純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、29ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

（参考）個別業績の概要

1. 平成20年8月中間期の個別業績（平成20年3月1日～平成20年8月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月中間期	4,892	0.6	140	△46.5	132	△76.8	△22	—
19年8月中間期	4,860	△1.1	262	△66.0	570	△30.7	331	△38.7
20年2月期	9,968	—	922	—	1,552	—	657	—

	1株当たり中間（当期）純利益	
	円	銭
20年8月中間期	△5	55
19年8月中間期	81	12
20年2月期	162	02

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年8月中間期	8,266	2,222	26.9	550	56
19年8月中間期	7,344	2,189	29.8	542	68
20年2月期	8,035	2,250	28.0	557	55

（参考）自己資本 20年8月中間期 2,222百万円 19年8月中間期 2,189百万円 20年2月期 2,250百万円

2. 平成21年2月期の個別業績予想（平成20年3月1日～平成21年2月28日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,920	9.5	1,338	45.1	1,305	△15.9	454	△31.0	112	57

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は3ページ「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析②通期の見通し」を参照して下さい。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国金融市場の不安定、原油・原材料価格の高騰などにより、設備投資の減少幅が広がるなど景気後退感が強まりました。中でも個人消費は、年間問題をはじめとする国内の政治問題も背景として、低迷状況が続くこととなりました。

また学習塾業界におきましては、一層の競争激化により勝ち組と負け組の2極分化が進むと同時に、学習塾同士のM&Aや資本・業務提携等が数多く見受けられるようになってまいりました。

このような外部環境の中、当社は差別化戦略を前面に打ち出した高品質な教育サービスを提供すると同時に、グループ企業全体での事業拡大へ向けた盤石な体制作りを目指して支社・教室の展開や積極的な人材確保を図ってまいりました。

業績につきましては、当中間連結会計期間の連結売上高は7,334百万円（前年同期比1.0%増）、連結営業利益は222百万円（前年同期比42.1%減）、連結経常利益は210百万円（前年同期比46.3%減）、連結中間純利益は54百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

事業の種類別のセグメントの業績は次のとおりとなります。

(部門別概況)

(イ) トーマス〔学習塾事業部門〕

学習塾事業部門のトーマスでは、他塾との差別化戦略に基づく完全1対1の進学個別指導による高品質な教育サービスを提供するとともに、世界の名門大学進学を目指す英語専門塾として「インターナショナルトーマス」を開校した結果、売上高は4,663百万円（前年同期比4.1%減）となりました。当中間連結会計期間におきましては、大森校（東京都）、荻窪校（東京都）、所沢校（埼玉県）、練馬校（東京都）を拡大移転リニューアルいたしました。

(ロ) 名門会〔家庭教師派遣教育事業部門〕

100%プロ社会人講師による徹底した教育指導サービスの提供に加え、関西地区でのさらなる事業エリア拡大により、売上高は1,189百万円（前年同期比11.1%増）となりました。当中間連結会計期間におきましては、奈良支社の新設、埼玉支社の移転リニューアル、大宮駅前校（埼玉県）、豊中駅前校（大阪府）、学園前校（奈良県）の新規開校をいたしました。

(ハ) 日本エデュネット〔インターネットテレビ電話教育事業部門〕

全国の私立学校を対象とした課外個別学習支援システム「スクールeステーション」の営業推進とインターネットテレビ電話教育事業「ハローe先生」・「WebStudio（ウェブスタジオ）」の全国展開を引き続き行い、売上高は85百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

(ニ) 伸芽会〔幼児教育事業部門〕

名門幼稚園・名門小学校受験業界No.1の合格実績の実現と、幼児からの実践的な英語教育「インターナショナル伸芽会」の展開により、売上高は1,179百万円（前年同期比8.3%増）となりました。当中間連結会計期間におきましては、本八幡教室（千葉県）をトーマスと同じビル内に新規開校し、自由が丘教室（東京都）、荻窪教室（東京都）、調布教室（東京都）を拡大移転リニューアルいたしました。

(ホ) その他〔人格情操合宿教育事業ならびに生徒募集勧誘事業部門〕

リソー教育企画は、リソー教育グループ成長の原動力として積極的な生徒募集勧誘事業を行い、人格情操合宿教育事業部門のスクールツアーシップでは、教育カリキュラムを組み込んだ多彩な体験学習サービスの提供を行った結果、売上高は216百万円（前年同期比65.9%増）となりました。

② 通期の見通し

今後の見通しといたしましては、当社が属する学習塾業界においては、勝ち組と負け組が明確となってくる中で、今まで勝ち組とされてきた学習塾にとっても真の実力が厳しく市場から問われる時代が到来し、更なる業界再編も進んでくるものと思われまます。こうした中、当社グループは徹底した差別化戦略に基づき、その独自性と教務力を全面に打ち出した本物の教育サービスを提供するとともに、今後の事業拡大へ向けた基礎固めと当社グループ独自のブランドイメージの定着を図ってまいります。

具体的にはトーマスは、年間5校前後の新規及び拡大移転リニューアル開校を行い、引き続き安定的かつ丁寧な教室展開を進めてまいります。また国際舞台で活躍できる人材育成を目指した「インターナショナルトーマス」の営業展開を推し進め、新たなトーマスブランドとしてのイメージ構築を図ってまいります。

また人格情操教育事業部門では、5年後、10年後を見据えた未来型事業としての基盤を固めながらリソー教育グループの潜在顧客を創造し、行動力や判断力、挑戦力、協調性など子供たちが社会で生きる上で必要な力を育んでまいります。

名門会は関西・東海エリアでの経営基盤の安定化と、関東エリアを含めた名門会ブランドの構築により、全国展開を見据えた事業エリア・事業規模の拡大を積極的に進めてまいります。

日本エデュネットは生徒一人ひとりの学習支援・進学支援により、全国の私立学校の強力なバックアップツールともなる課外個別学習支援システム「スクールeステーション」の導入に引き続き注力するとともに、インターネットテレビ電話教育事業「ハローe先生」・「WebStudio（ウェブスタディオ）」を引き続き提供してまいります。

伸芽会は、関西エリアでの私立小・中・高・大一貫教育の進展に伴うニーズ拡大にあわせて、首都圏での合格実績を関西でも存分に発揮すべく関西エリアへの進出・拡大を図ると共に、「インターナショナル伸芽会」の展開もすすめ、さらなる事業スケールの拡大を目指してまいります。

リソー教育企画はその専門性を最大限に活用して、リソー教育グループ成長の原資となる新規入会生徒の獲得を積極的かつ効率的に行い、グループ各社の事業拡大を着実に支えてまいります。

グループ全体では、グローバル時代を生き抜く個性を持った子供たちを育てるという大きな理念のもと、「個」と「質」を重視して、多様化する教育ニーズにきめ細かく丁寧に応えるべく、事業エリア・事業規模のさらなる拡大と深化を目指します。あわせて社会貢献にも力をそそぎ、ブランドイメージ・企業価値の向上を図ってまいります。

通期の業績といたしましては、連結売上高16,520百万円、連結営業利益1,865百万円、連結経常利益1,820百万円、連結当期純利益835百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、営業未収入金、繰延税金資産（流動資産）、敷金及び保証金の増加、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末と比較して334百万円増加し、8,756百万円となりました。

負債は、未払金、前受金、売上返戻等引当金の増加、短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末と比較して284百万円減少し、6,595百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して49百万円増加し、2,160百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前中間純利益168百万円（前年同期比187百万円減）を確保し、当中間連結会計期間末には2,495百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は787百万円（前年同期比720百万円増）となりました。この主な内容は、税金等調整前中間純利益168百万円、売上返戻等引当金の増加305百万円、売上債権の増加297百万円、未払金の増加283百万円、前受金の増加222百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は350百万円（前年同期比703百万円減）となりました。この主な内容は、有形固定資産の取得による支出202百万円、敷金及び保証金の取得による支出155百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は789百万円（前年同期比399百万円増）となりました。この主な内容は、短期借入返済による支出550百万円、長期借入返済による支出189百万円、配当金の支払額52百万円等によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成17年6月期	平成18年2月期	平成19年2月期	平成20年2月期	平成20年8月 中間期
自己資本比率（%）	45.2	46.8	41.7	30.5	32.9
時価ベースの自己資本比率（%）	548.6	432.0	390.8	142.1	88.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	1.1	0.7	2.5	3.8	1.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	63.5	137.9	46.1	13.6	24.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

(中間期については、営業キャッシュ・フローを年額に換算するため2倍しております。また、平成18年2月期の債務償還年数は営業キャッシュ・フローを12ヶ月換算して算出しております。)

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結(中間連結)貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、確固とした経営基盤の確立と業績に応じた継続的な配当を行っていくことを基本方針としております。

内部留保金につきましては、新規開校投資資金や既存校の拡大移転リニューアルの為に効率的に充当し、事業の拡大を図ってまいります。

なお、上記の方針に基き、当期の配当は中間配当として1株当たり20円を実施いたします。また、期末配当金として1株当たり25円、年間では45円の配当を予定しております。

(4) 事業等のリスク

1 当社の事業の特長について

当社は、個別指導方式の学習塾「トーマス」の運営を主力事業としております。

当社は首都圏を中心に新校開設、既存校の拡大移転リニューアルによる安定的な教室展開を図る計画ではありますが、物件の確保ができずに計画通りに教室展開ができない場合、当社の業績に影響を与える可能性があります。

2 個人情報の取扱いについて

当社ではプライバシーポリシーに基づき個人情報の管理を徹底しております。また、お客様の個人情報はデータベースにて管理しており、万全の管理体制の下、情報流出阻止に努めるほか、全従業員に定期的に個人情報保護の重要性や情報の取扱いについて教育を行っております。今後生徒情報の流出により問題が発生した場合、当社の業績に影響を与える可能性があります。

なお、文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間において当社グループが判断したものであります。

2. 企業集団の状況

当社の企業集団は、当社、株式会社日本エデュネット、株式会社名門会、株式会社伸芽会、株式会社リソー教育企画の5社で構成されております。

当社は「ひと部屋に生徒一人に先生一人」の全室黒板付の完全個別指導を中心とした進学学習指導を主な業務としており、教室名「トーマス」を直営方式で運営しております。また当平成21年2月期より、知識教育では埋めきれない人格情操教育指導を目的に、教育カリキュラムを組み込んだ合宿・体験学習に特化した人格情操合宿教育事業部門を株式会社リソー教育企画より移管し「スクールツアーク」[※]として運営しております。

グループ企業の主な業務内容は次のとおりです。

株式会社日本エデュネット

インターネットテレビ電話を利用したリアルタイムによる双方向性の完全個別指導システムと、私立学校を対象とした課外個別学習支援システム「スクールeステーション」を主業務としております。

株式会社名門会

100%プロ社会人講師が個別指導する進学学習指導を主な業務としており「名門会家庭教師センター」を直営方式で運営しております。

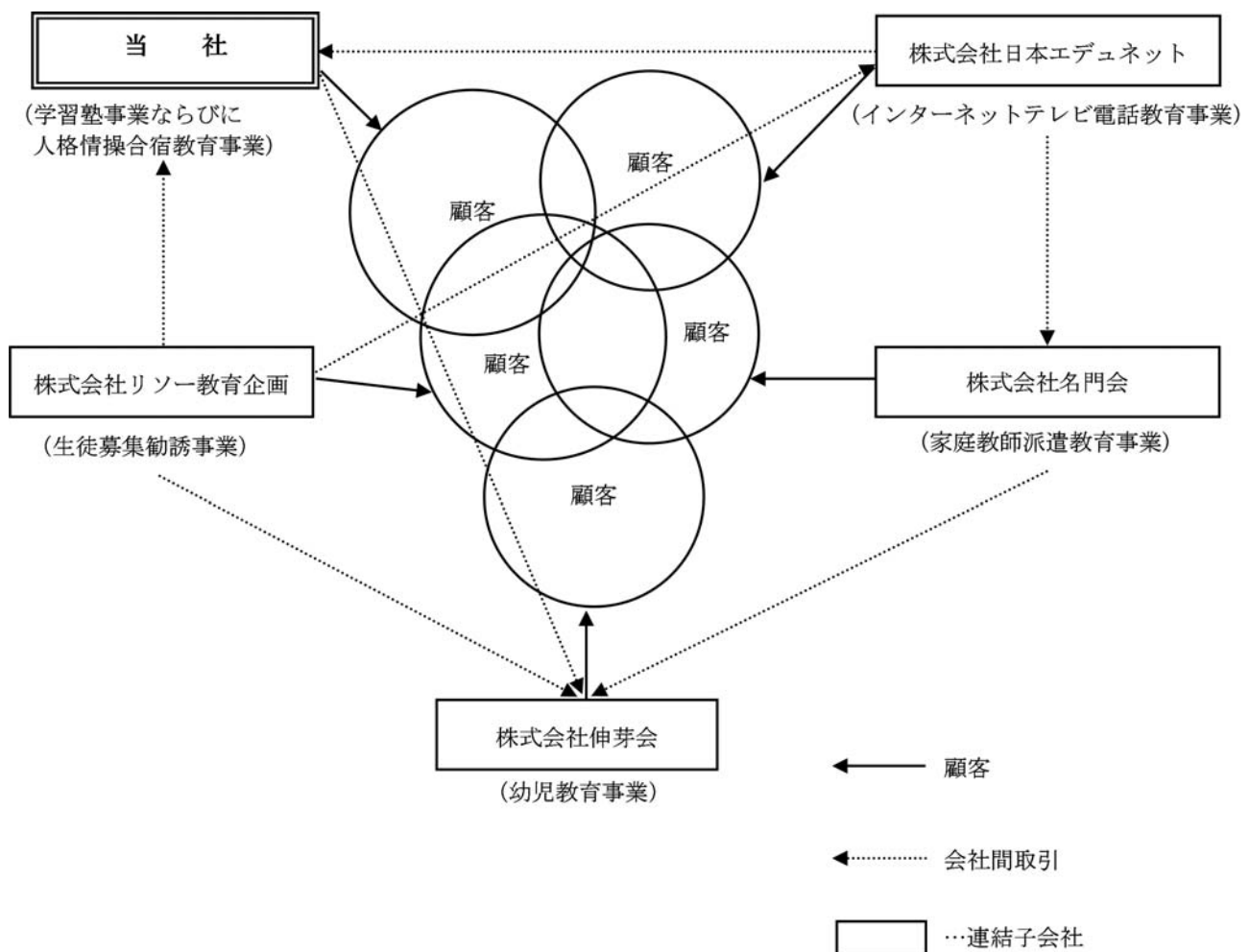
株式会社伸芽会

名門幼稚園・名門小学校への受験指導を主業務としております。

株式会社リソー教育企画

グループ各社の生徒募集勧誘事業を主業務としております。

事業の系統図は、次のとおりであります。



3. 経営方針

- (1) 会社の経営の基本方針、(2) 目標とする経営指標、(3) 中長期的な会社の経営戦略、(4) 会社の対処すべき課題
平成19年2月期決算短信（平成19年4月18日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため、開示を省略いたします。

なお、当該決算短信は次のURLからご覧頂くことができます。

（当社ホームページ）

<http://www.tomas.co.jp/top/top2.html>

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

- (5) その他、会社の経営上重要な事項
該当事項はありません。

4. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

区分	注記 番号	前中間連結会計期間末 (平成19年8月31日)		当中間連結会計期間末 (平成20年8月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年2月29日)		
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金		2,065,441		2,495,923		2,848,557		
2 授業料等未収入金		629,058		<u>724,059</u>		<u>426,818</u>		
3 たな卸資産		68,835		74,279		63,584		
4 前払費用		217,787		240,373		193,229		
5 繰延税金資産		86,938		<u>383,640</u>		<u>227,008</u>		
6 その他		17,118		11,907		121,467		
7 貸倒引当金		△23,226		<u>△18,762</u>		<u>△20,932</u>		
流動資産合計		3,061,953	36.9	<u>3,911,421</u>	44.7	<u>3,859,733</u>	45.8	
II 固定資産								
1 有形固定資産	※1							
(1) 建物		602,278		544,059		532,308		
(2) 構築物		1,361		1,293		1,327		
(3) 車両		2,130		1,451		1,726		
(4) 器具備品		822,169		861,333		775,850		
(5) 土地		419,072	1,847,014	398,983	1,807,121	419,072	1,730,285	
2 無形固定資産								
(1) のれん		325,687		230,084		262,953		
(2) その他		98,887	424,575	120,270	350,355	108,768	371,722	
3 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券		1,083,343		685,040		630,051		
(2) 長期前払費用		48,994		44,634		41,157		
(3) 繰延税金資産		345,473		<u>323,548</u>		<u>321,980</u>		
(4) 敷金及び保証金		1,310,161		1,403,564		1,256,915		
(5) ゴルフ会員権		59,004		59,004		59,004		
(6) 保険積立金		121,361		171,790		151,453		
(7) その他		315	2,968,654	—	<u>2,687,582</u>	—	<u>2,460,562</u>	
固定資産合計		5,240,244	63.1	<u>4,845,059</u>	55.3	<u>4,562,570</u>	54.2	
資産合計		8,302,197	100.0	<u>8,756,481</u>	100.0	<u>8,422,303</u>	100.0	

